

クラウドサービスの利用状況可視化・制御

次世代CASB Forcepoint ONE

近年、企業では働き方改革を進めていく上で、SaaSなどのクラウドサービスを活用する動きが加速しています。一方で、クラウドサービス利用ルールの遵守が従業員任せになったり、従業員が企業の管理外のデバイスやサービスを勝手に利用するシャドーITが発生するなど、セキュリティの確保も課題となっています。次世代CASB* Forcepoint ONEは、クラウドサービス利用状況の可視化・制御によりクラウドサービスのセキュアな利用を実現します。

*CASB: Cloud Access Security Broker (クラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー)
従業員のクラウドサービス利用を適切に制御するための企業向けサービス



クラウドサービスの利用ルール… 守られていますか？

従業員が勝手に個人の
デバイスやクラウドサービスを
利用しているかもしれない

利用ルールはあるが
運用がユーザー任せに
なっている

CASBを導入したいが
既存のIT環境への
影響が心配

次世代CASB Forcepoint ONEは ユーザー・管理者に負担をかけず クラウドサービスのセキュアな利用を実現！



利用サービスの可視化

AI技術により、クラウドサービスの情報を迅速にリスト化。より多くのクラウドサービスを判別し、シャドーITを的確に洗い出します。



利用状況の把握・リアルタイム制御

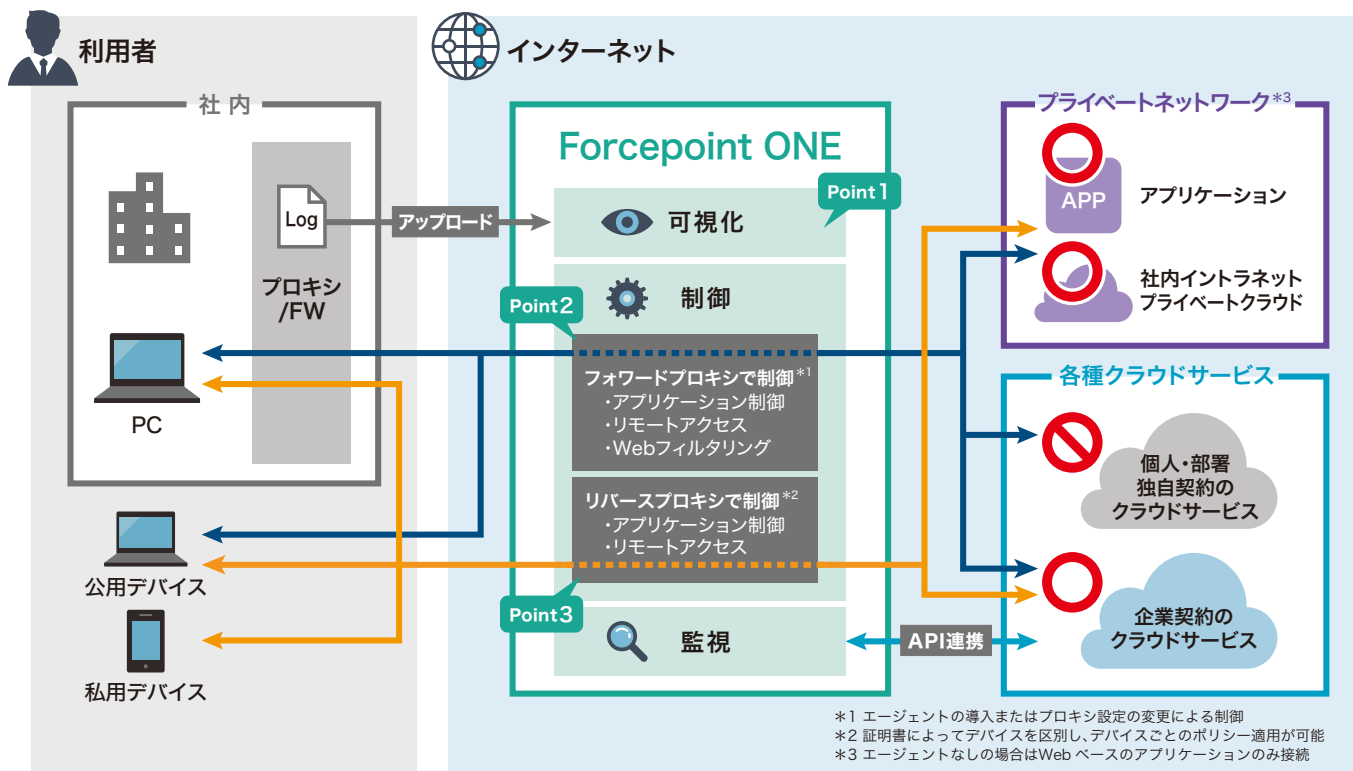
企業で契約したクラウドサービスを管理し、利用状況を把握。クラウドサービスごとに制御の条件と内容を設定することで、ルールに則った利用を徹底します。



エージェントレスで簡単導入

エージェントのインストールが必要ないこと、導入後のユーザビリティへの影響も少ないことから、ユーザーや管理者に負担をかけない導入・運用の実現を支援します。

利用イメージ



Point 1

AI技術を活用し、約81万種類以上*ものクラウドサービスを判別可能。*2023年12月時点
企業・個人を問わず、社内で利用されているクラウドサービスをくまなく可視化!

Point 2

全社的に許可されていない、個人や部署で独自に契約したクラウドサービスへのアクセスを禁止することも可能!

Point 3

エージェントレスで、コンテンツやアクセス元に応じたファイルのアップロード可否の判断などの制御や、プライベートネットワークへのセキュアなリモートアクセスを実現!

Hitachi Solutions



Forcepoint

製品知識に裏づけられた提案

メーカーと密接に連携し、タイムリーに情報交換を行うことで豊富な製品知識を持つチームを編成。提案から導入支援まで安心してお任せください。

日本語による的確なサポート

数多くの海外製品のサポートを手がけた経験をもとに、お客様のニーズや課題を定期的にメーカーと共有、協議。メーカーに代わり、日本語での的確なサポートを提供します。

クラウド利用を包括的に支援

クラウド分野の豊富な実績と経験により、クラウドサービス利用に関するお客様の課題を解決。クラウドサービス導入から利用までを包括的にご支援します。

※Forcepointは、Forcepoint LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/bitglass/

S18S-12-07 2023.12